

## 資料 4

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成24年4月 日

協議会・構成員 生駒市地域公共交通活性化協議会  
 (生駒市、奈良県、生駒市民、  
 生駒交通(株)、奈良交通(株)、  
 近畿日本鉄道(株) ほか)

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	生駒交通(株) コミュニティバス暗峠 萩原線及び暗峠線	近畿日本鉄道(株) 生駒線南生駒駅を 経由する、暗峠～ 南コミュニティセン ターせせらぎ間2 系統の運行	A 計画どおり、事業は適切に実施され た	B これまで公共交通サービスが提供され ていなかった地域にコミュニティバスを運 行し、地域住民の利便性や生活交通の 確保を図るという、当初の目的につい ては、平成23年度(111日運行)におけ る交通不便地域(2012.4.1 住民基本台帳 人口約420人)での利用が1日あたり10 人となっていることから、一定の成果が あったと認められる。	地域の活性化につなげるという目的を達成 するためには、持続的な運行が求められると ころであるが、それには、収支状況を改善す ることも必要になる。(運行に要する経常経費 に占める市の負担割合は、現時点で約72% と見込んでいる) 今後、収支状況の改善に向け、より一層の 利用促進に取り組む。具体的には、行政や 運行事業者だけでなく、沿線地域も交え、ダ イヤ等運行情報の一層の周知を図ることや 観光目的での利用を促進するなど、利用促 進策を検討し、実施していく方針である。

